

米国電力5社による二酸化炭素排出削減の取組

概要	<p>米国の電力会社5社が、WWF（世界自然保護基金）の提唱する”Power Switch Challenge”に応える形で、①発電所からの二酸化炭素排出削減の義務化（Mandatory Cap）を支持し、さらに、②再生可能エネルギーの利用拡大と、エネルギー効率の向上を図ることを約束する。</p>
参加者	<p>5つの電力会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Austin Energy: テキサス州 ・Burlington Electric Department: ニューイングランド州 ・FPL Group, Inc.: フロリダ州 ・Sacramento Municipal Utility District: カリフォルニア州 ・Waverly Light and Power: アイオワ州 <p>（なお、5社の顧客数は、合計7百万人。）</p>
対象ガス	<p>二酸化炭素のみ。</p>
目標パターン	<p>電力会社各社は、政府による二酸化炭素排出削減の義務化への支持表明に加えて、”Power Switch Challenge”に盛り込まれた以下の行動目標の中から1つ以上を選択・設定する。</p> <p>(1) 2020年までに販売する電力の20%を再生可能エネルギー（ソーラー、風力、バイオマス、小規模水力、地熱、メタン回収等）にする。</p> <p>(2) 2020年までにエネルギー効率を15%向上させる。</p> <p>(3) 2020年までに石炭火力発電所のうち、非効率な発電所を50%以上廃止する。</p>
電力各社の取組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ Austin Energy: (1)と(2)を約束 ・ Burlington Electric Department: (1)と(2)を約束 ・ FPL Group, Inc.: (2)を約束 ・ Sacramento Municipal Utility District: (1)を約束 ・ Waverly Light and Power: (2)を約束
不遵守時の措置	<p>不遵守時の罰則については特に定められていない。</p>